

関西フィルハーモニー管弦楽団 東大阪演奏会



©s.yamamoto



—ソリスト—
高木竜馬 (ピアノ)



—指揮—
松村秀明

©武藤章

2022年3月27日(日) 15:00開演 14:15開場

東大阪市文化創造館  DreamHouse 大ホール

全席指定2,500円(消費税込み) ※未就学児童は入場不可。

チケット発売日:2021年12月18日(土)10:00~

春の名曲シリーズロシア音楽を大特集!

〈演奏予定曲目〉

グリンカ

歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲

ラフマニノフ

ピアノ協奏曲 第2番 ピアノ:高木竜馬

チャイコフスキー
交響曲第5番



主催:PFI東大阪文化創造館株式会社 協力:キョードー

お問合せ:キョードーインフォメーション 0570-200-888 (11:00~16:00 日・祝休み)



©武藤章

指揮 松村秀明 Hideaki Matsumura

慶應義塾大学法学部卒業。大学在学中より洗足学園音楽大学附属指揮研究所にて学び、マスターコースを修了。これまでに指揮を秋山和慶、河地良智、増井信貴、湯浅勇治の各氏、ピアノを馬場幸希江、クラリネットを四戸世紀の各氏に師事。

2006～2008年の「アフィニス夏の音楽祭」に指揮研究員として参加、2010年度は新日鉄文化財団により新設された指揮研究員のオーディションに合格し、紀尾井シフォニエッタ東京で研鑽を積む。第11回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで第3位入賞。

これまでオーケストラ・アンサンブル金沢、大阪交響楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、千葉交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団、山形交響楽団、読売日本交響楽団を指揮。2012年にはイタリアのボルツァーノ＝トレント・ハイドン管弦楽団に招かれて3公演を指揮、好評を博す。また、2019年の天皇陛下のご退位と新天皇ご即位にあたり、日本テレビによって制作された楽曲「新時代へ」(佐藤直紀作曲)の録音を指揮(演奏は読売日本交響楽団)。大きな話題となっている。現在、洗足学園音楽大学非常勤講師。

これまでオーケストラ・アンサンブル金沢、大阪交響楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、千葉交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団、山形交響楽団、読売日本交響楽団を指揮。2012年にはイタリアのボルツァーノ＝トレント・ハイドン管弦楽団に招かれて3公演を指揮、好評を博す。また、2019年の天皇陛下のご退位と新天皇ご即位にあたり、日本テレビによって制作された楽曲「新時代へ」(佐藤直紀作曲)の録音を指揮(演奏は読売日本交響楽団)。大きな話題となっている。現在、洗足学園音楽大学非常勤講師。



ソリスト 高木竜馬(ピアノ) Ryoma Takagi

2018年9月に第16回エドヴァルド・グリーグ国際ピアノコンクールにて優勝及び聴衆賞を受賞し、一躍世界的に脚光を浴びる。その他にも第26回ローマ国際ピアノコンクールなど、7つの国際コンクールで優勝。NHK総合テレビ『ピアノの森』では、雨宮修平メインピアニスト役で出演し大好評を博す。サントリーホール、フェスティバルホール、みなとみらい大ホール、ミューザ川崎シンフォニーホール、新国立劇場、紀尾井ホール、東京オペラシティコンサートホール、ウィーン楽友協会大ホール、ウィーンコンツェルトハウス、シェーンブルン宮殿、ミュンヘンガスタイク、エルプフィルハーモニー、モスクワクレムリン宮殿、モスクワ音楽院大ホール等々、著名なホールで演奏する。ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、オスロフィルハーモニー管弦楽団、ベルゲンフィルハーモニー管弦楽団、トロンハイムソロイスト、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等のオーケストラと、小林研一郎、尾高忠明、飯森範親、現田茂夫、アンドレア・バッティストーニ、シュテファン・ヴラダー、エドワード・ガードナー、エイヴィン・グルベルグ＝イェンセン、ハンス・グラーフ等の指揮で共演するなど日本とウィーンを拠点に広範な演奏活動を行っている。(公財)江副記念リクルート財団第35回奨学生。(株)イープラスとエージェント契約を締結。

ティバルホール、みなとみらい大ホール、ミューザ川崎シンフォニーホール、新国立劇場、紀尾井ホール、東京オペラシティコンサートホール、ウィーン楽友協会大ホール、ウィーンコンツェルトハウス、シェーンブルン宮殿、ミュンヘンガスタイク、エルプフィルハーモニー、モスクワクレムリン宮殿、モスクワ音楽院大ホール等々、著名なホールで演奏する。ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、オスロフィルハーモニー管弦楽団、ベルゲンフィルハーモニー管弦楽団、トロンハイムソロイスト、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等のオーケストラと、小林研一郎、尾高忠明、飯森範親、現田茂夫、アンドレア・バッティストーニ、シュテファン・ヴラダー、エドワード・ガードナー、エイヴィン・グルベルグ＝イェンセン、ハンス・グラーフ等の指揮で共演するなど日本とウィーンを拠点に広範な演奏活動を行っている。(公財)江副記念リクルート財団第35回奨学生。(株)イープラスとエージェント契約を締結。



©s.yamamoto

管弦楽 公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団 Kansai Philharmonic Orchestra

1970年発足。1982年関西フィルハーモニー管弦楽団として新発足。2018年公益財団法人化。2020年には楽団創立50周年を迎えた。

世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは2008年より首席客演指揮者を務め、2011年より楽団初の音楽監督に就任。首席指揮者には藤岡幸夫、桂冠名誉指揮者には飯守泰次郎が就任している。

人間の営みから生まれた音楽・・・『ヒューマニズム』をテーマに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開。2015年には東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、2020年には門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視している。クラシック音楽の裾野を広げる活動など明確なビジョンを持ち、常に新たなことに挑戦する個性派オーケストラとして好評を博している。

2014年10月よりスタートしたBSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8時30分)に藤岡幸夫と共に出演中。2015年には、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>

チケットのお求めは2021年12月18日(土)10:00から 一般発売開始!

▶東大阪市文化創造館チケットセンター TEL0570-08-1515(10:00～16:00)

※一般発売日の翌日(10:00)から残席がある場合のみ窓口販売を行います。

▶チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/higashiosaka-kansaiphil/>【Pコード:207-547】

▶ローソンチケット <https://l-tike.com/kansaiphil/>【Lコード:53414】
ローソン・ミニストップ店頭Loppi

▶CNプレイガイド TEL0570-08-9999 ▶イープラス <http://eplus.jp>



東大阪市御厨南二丁目3番4号
近鉄奈良線 八戸ノ里駅より徒歩約5分
[難波から普通電車で15分]